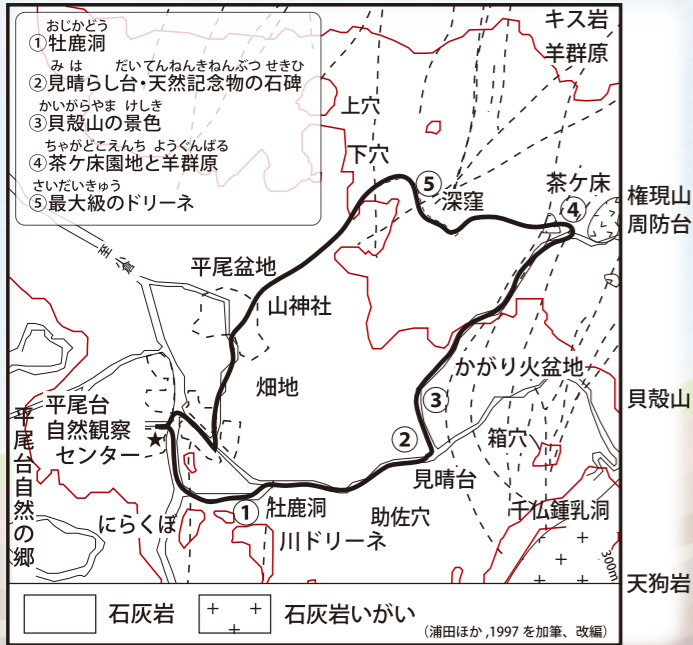


平尾台のおもな見どころ

ふと せん ちやがどこ (太い線は茶ヶ床～みはらし台コース)



- 平尾台は国の天然記念物や北九州国定公園などに指定されています。
- マナーを守り、自然を楽しく学び、まもっていこう！
- ゴミは持ち帰ろう
 - 大きな音をたてたり、花をつまないようにしよう
 - あぶないあながあるかもしれません。かんさつコースをはずれないようにしよう
 - どくへび(マムシ)などあぶない生きものに注意しよう



① 牡鹿洞

平尾台ではたくさんのどうくつが見つかっています。石灰岩が雨水によってゆっくりととくされ、どうくつやドリーネとよばれるくぼ地が発達します。暗いどうくつの中にはめずらしい生物がすみ、ナウマンゾウやヤベオオツノジカなど今では見られない動物の化石も見つかります。国の天然記念物に指定された「千仏鍾乳洞」や水のすいこみあなが発達した「牡鹿洞」、2キロメートルをこす長さの「目白洞」は観光用のどうくつになっています。



④ 茶ヶ床園地と羊群原

茶ヶ床園地からは丸くて羊のむれのように見える石灰岩の景色が楽しめます。

南のあたたかい海のサンゴしょうにすんでいた生きものたちが作りだした白い石灰岩は約1億年前にあついマグマのえいきょうをうけてくずれやすくなりました。そのため、丸みをおびて羊がむれているような形にみえます。

「約3億年前のサンゴしょう」のふく元 (いのちのたび博物館展示)

平尾台をつくるもとになった生きものたちがふく元されています



安全に楽しく活動するために

◆平尾台自然観察センター

平尾台の自然をかんさつするためのたくさんの方が学べます。平尾台のれきしや、自然をしめすもけいなどでかんさつのポイントを教えてください。

平尾台にはあぶない場所もあるので、しっかり調べよう！



◆平尾台自然の郷

いろいろな体けんができる参加型のレクレーション施設です。平尾台での活動を手つだってくれるガイドスタッフが相談にもつてくれます。

